



平成20年12月2日

塩竈市長 佐藤 昭 殿

塩竈市公共事業再評価監視委員会
委員長 須田 臈

平成20年度公共事業再評価への意見の具申について

塩竈市公共事業再評価監視委員会に対して意見を求められていた塩竈市流域関連公共下水道事業の再評価について、別紙のとおり意見を具申いたします。



平成20年度塩竈市公共事業再評価への意見

塩竈市公共事業再評価監視委員会

平成20年11月19日に開催いたしました塩竈市公共事業再評価監視委員会において、塩竈市から提示された公共事業再評価の結果及び対応方針（原案）について審議した結果、塩竈市流域関連公共下水道事業については、事業継続が妥当であるとの結論に達しました。

なお、審議結果に基づき、流域関連公共下水道事業を継続するにあたっての監視委員会からの最終的な意見は、下記のとおりです。

記

1. 下水道事業に対する市民の理解と協力を広めていくため、各地域における下水道整備の進捗状況などをわかりやすい形で公表していくこと。
2. 下水道事業については、将来の人口減少や市全体の政策優先度にも配慮すること。
3. 下水道（汚水）の整備にあたっては、100年後、200年後といった長期間にわたって機能性を保っていくためにも、的確な維持補修等を行っていくこと。
4. 今後の雨水対策の方針については、高台での道路整備や宅地造成に伴う影響など、市全体にわたる総合的なまちづくりという視点を取り入れること。
5. 雨水事業の整備にあたっては、限られた財源の中で、経費削減・コスト縮減に一層努めるとともに、重点化・優先度を設定しながら進めていくこと。特に、今後は、海面上昇についても念頭に入れて、海側の排水施設の拡充に留意すること。
6. 雨水事業の整備にかかる進度調整を行う際は、市民の安全性に関わるリスク（危険度）について十分配慮すること。